

【第25回 患者会 活動報告】

しまうまサークル@関西 第25回患者会

日時：2018年4月8日（日）午前10時30分～

場所：京都北いきいき市民活動センター 会議室

参加：患者、15名、講師1名の計16名でした。

講師は、畿央大学健康科学部看護医療学科の中西恵理先生にお越しいただき、「緩和ケアをご存知ですか？」というテーマでお話しを頂戴いたしました。

中西先生は、緩和ケア病棟に勤務されているときに乳がんが見つかり、治療のため休職、その後復職されましたが、病棟を退職されて今の畿央大学の教員になりました。

先生は、WHOの緩和ケアについての解説を説明して下さったのち、緩和ケアなんてまだ早いときめつけずに、「つらい」と感じたときに相談してみましようとおっしゃっていました。

主治医か看護師、もしくはがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターで相談に乗ってもらえます。がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターはその病院の患者でなくても利用できるそうです。

今回は、京都新聞社さまより、プロジェクターとスクリーンを寄贈いただいたので、初めて使わせていただきました。

京都新聞社さま、誠にありがとうございました。

あとは、お互いの自己紹介をしたり、東京の患者サロンに出られた方からの報告や関西光科学研究所の「小林 久隆先生の近遠赤外線光線免疫療法」の参加報告をしました。

その後、ランチ「川はた」でお料理をいただき、近くの今宮神社の「やすらい祭り」を見に行ってきました。

やすらい祭りは、厄除け、無病息災を願うお祭りです。赤い傘の下に入ると年間無病息災でいられるとのいわれがあります。

帰りは流れ解散でしたが、あぶり餅を食べて帰ると言って行列に並びに行かれた方もありました。

たいへん盛会で好評に患者会を終わりました。😊😊❤